

<b>活動名</b> 通学合宿「たかみず」	<b>団体名</b>	高水通学合宿実行委員会
	<b>地域</b>	山口県周南市
	<b>代表者</b>	会長 竹村 正美
	<b>支援金額</b>	21万円
<b>活動概要</b>		
<p>地域のコミュニティ団体が主催となり、小学校4年生の児童を対象に公民館に寝泊まりしながら小学校へ登校し、地域の方々と共に、食事・レクリエーションなどを行う通学合宿(5泊6日)を開催。</p> <p>目的</p> <p>子どもたちが家庭を離れ、共同生活を行いながら、家庭生活を自分たち自身の手で行うことにより、基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、コミュニケーション能力を高める。また、お互いの立場に立って物事を考え、行動し、主体的に生きていこうとする心情を育むとともに、地域、学校、家庭が一体になり、地域で子どもたちを育てる気運を醸成する。</p> <p>◆実施時期 平成26年6月22日～6月27日(5泊6日) 高水公民館・高水ふれあいセンター</p> <p>◆参加人数 ・子ども:25名(高水小学校4年生) ・大人(延べ人員):105名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:130名</p>		



入所式の様子



公民館からの登校の様子



地域の方との交流～そうめん流し～



七夕飾り作り

#### ◆実施に伴う効果

5泊6日の長期間、親元を離れ生活をする中で、親離れ、子離れが促進され、親子とも成長へ繋がりました。また、参加児童は合宿期間中、さまざまな活動をとおして多くの地域の方々とふれあい、交流することができました。それにより、地域を身近に感じ、地域の方々に支えられているという感謝の心も学べたのではないかと思います。また、地域としても、子どもたちと積極的に係わることをとおして、地域全体で子どもを守り育てていく意識の向上や、子どもを核とした温もりある地域コミュニティの構築につながったと思います。

#### ◆苦労した点

1. 合宿期間中の安全・健康の確保  
事前に参加児童の保護者にアンケートを実施し、食事や健康面での留意事項を確認した結果、アレルギーや投薬依頼など多くの回答が寄せられ、その対策検討と対応に多くの時間を費やした。
2. 参加児童の管理全般  
合宿期間中の生活指導や、集団の管理を地域の方や実行委員会で行ったが、慣れないため苦労した。  
また、合宿中に参加児童が習い事等や体調不良等で合宿を離れたりの出入りも多く、スケジュール管理に苦労した。

#### ◆今後の課題・発展の方向性

##### 課題

通学合宿「たかみず」は、今年で6回目の開催となり地域の行事として定着しつつあるが、予算面で参加児童の参加費だけでは運営が難しい等、毎年その財源確保に苦労している。また、5泊6日という日程が、保護者や参加児童の大きな負担となっているという声もあるので、合宿期間の縮小等や実施内容の見直しを行い、予算面や参加者の負担軽減を図る等、検討が必要と思われる。

##### 発展性

実施内容、運営体制の見直しを検討する中で、近隣の高校や大学のボランティア等を合宿運営に組み込み、地域活性、子ども育成のみならず、若者の成長の場としても「通学合宿」を企画・運営していきたい。

#### ◆活動を終えての感想・意見等

今回、貴財団からの助成により充実した地域イベントとなり、参加児童や保護者、地域の方からも感謝の声を多くいただきました。また今回のご支援により毎回調達に苦労していた備品についても整備でき、今後の合宿運営において大きな助けとなり感謝いたします。今後も、継続してよい良い通学合宿を企画・運営し、この通学合宿の目的でもある地域一体となって子どもたちを見守り、育てる気運の醸成に努めていきたいと考えています。改めて、貴財団の助成により、素晴らしい通学合宿が実施出来たことを、心より感謝申し上げます。